



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

# 万葉のまち 市辺

第73号

令和7年11月

東近江市政20周年記念

・新コミュニティセンター新築記念

いちのべ文化・スポーツ ふれあいフェスタ

発行：市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2353-1  
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392



# いちのべ文化・スポーツ ふれあいフェスタ

11月2日(日)  
～ 9日(日)

秋晴れの下、開式の号砲と共に始まった「ふれあいフェスタ」は市制20周年とコミュニティセンター新築をお祝いしての開催となりました。

特別記念事業として開催された熱気球の搭乗体験は市辺グラウンド上空30mからの眺望となりました。

今年のふれあいフェスタは文化祭と同時開催で、新企画「日替

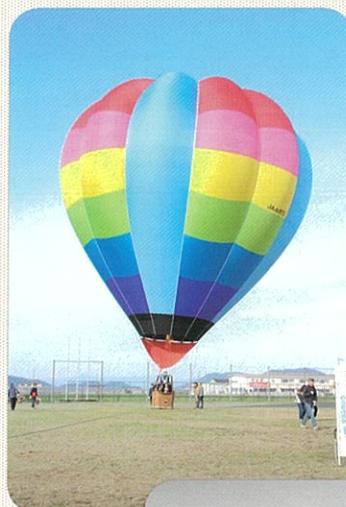
わりカフェ」を取り入れて1週間の開催となり、多くの皆さんの来場で賑わっていました。

最終日には第11回蒲生野万葉短歌会の表彰式が開催され閉幕となりました。

令和7年11月

木田 行男 実行委員長

## 11月2日(日) 屋外イベント



女性アナウンサーの  
司会進行で「ステージ」  
は進みます。

熱気球、青空に浮かぶまでの準備も「このイベント」の楽しみ。ふあっと地上を離れる時の「快感」「怖さ」は、乗った人でないとわからないとのこと。



### 令和七年度

### 第十一回 蒲生野万葉短歌会 入選句

#### 一般の部

#### 蒲生野大賞

田になべて水の張りたる蒲生野を水鏡とし昇る夕月

滋賀県大津市 船岡 房公

#### 紫野賞

星の子が螺旋に遊ぶと母詠みし振花今年も野に咲きはじむ

東近江市上羽田町 平田 三栄子

#### 標野賞

みことなる白木の棟の広々と市辺民のよきよりどころ

東近江市蛇溝町 小西 恵美子

#### 中学生の部

#### 優秀賞

なんで今思ひ出すんだあの答え机の前で出てはしかなかった

東近江市立玉園中学校 2年 野瀬 理加

#### 特選いちのべ賞

雨がふる己の音楽つむぐため傘を太鼓にサザントントン

東近江市立五個荘中学校 2年 澤村 莉子

#### 特選いちのべ賞

タオルへと柔軟剤のにおいと吸いよせられるまねけをハチよ

東近江市立玉園中学校 2年 村山 愛麗

#### 小学生の部

#### 優秀賞

ピカチュウになれたらばくはかみなりでしゅくだいぜんぶとばしてみたい

東近江市立八日市北小学校 4年 今若 創一朗

#### 特選いちのべ賞

つるりと水といっしょに流れてくいつかやりたい流しそうめん

東近江市蒲生北小学校 6年 花田 大空

#### 特選いちのべ賞

はかまいりやさしいかおをおもいだすおじそうさまとそっくりなそば

東近江市立八日市西小学校 5年 古澤 桜

# 「文化祭・ふれあいフェスタ」



## 歴史・文化部

令和7年度 第一回  
市辺歴史発見塾

### 「鳥瞰図」作製の作製者 松井善和氏招き講演



去る8月17日、市辺地区鳥瞰図の完成を記念してこの作製者松井善和先生を講師に「市辺地区鳥瞰図の作製を通して

感じる」と題して市辺れきし発見塾を開催しました。

この講演に先立ち当協議会の谷正和会長から松井氏に「感謝状」が贈呈されました。

講演では、布施山の上空から市辺地区を見下ろし、コミ

センの建屋を真ん中に据え、全体のバランスを考え始めたところ、布施山の東に学校、神社、高速道路のパーキングエリアが点在しており、全てをいれるには近江鉄道を曲線にする方法しかなかったとの話がありました。

次に、昭和40年中頃の東近江地域の地図から始まり、さらに滋賀県の郡制時代の古地図に移り、あつという間の昔の思いを馳せた講演でした。



# 市辺地区シニア健康グラウンドゴルフ大会開催

-----まち協 会長杯 “2025” -----

11月13日(木)午前9時より、市辺グラウンドにおいて、第5回市辺地区シニア健康グラウンドゴルフ大会が行われました。

入賞されたのは次の方々です。(敬称略)

総合優勝 大橋 照美



男子			女子		
優勝	大橋 照美	65	優勝	小菅 美代子	73
2位	谷 秀和	65	2位	西澤 美佐子	77
3位	森 喜代司	75	3位	西澤 和枝	83
4位	森 英夫	77	4位	武久 秋子	84
5位	宮井 昇	77	5位	奥村 八重子	86

## 部会だより

### 安全・安心部

減災・安全安心部では、9月26日に社協主催で開催された「よってみてカフェこぼし」に参加しました。参加者の皆様と「減災かるた」取りを、ところどころ解説を交えながら、賑やかに楽しむことができました。また、災害時に必要となる簡易トイレの模擬体験もしていただきました。トイレの凝固剤を実際に使ってみて、「袋の中の液体がみるみるうちに固まっていく様子」や「液体の臭いがかなり軽減されること」を体験できて、有意義な内容となりました。

「いちのべ文化・スポーツふれあいフェスタ」でも、減災かるた取りや減災グッズ体験コーナーを予定していますので、ぜひお立ち寄りください。(11月2日以前の寄稿です)

### 自然・環境部

「未来を担う子ども達に、美しく安全な地球を残したい。」そんな思いで活動しています。

今年は園近くに畑を借りられたこともあり、子どもたち自身でさつまいもの苗を植え、後々水やりや、観察に役立つと、名札も付けました。

ところが、この夏の酷暑、子ども達は園舎から出ることも出来ず、畑のつるは変色。見かねて部員による水やりが始まる。1株、1株、1杓、1杓、ほぼ毎朝、つるは甦り、いも掘りの日を待つのみ。

いも掘り予定日、10/27, 10/29, 11/5,

幸いにも、つるは甦り、大きい(過ぎる)おいもに、園児は大喜び。27日無事終わりました。

### 健康・福祉部

#### 市辺地区まち協「健康・福祉講演会」開催

健康で暮らしを豊かにする手引書として講演会が行われます。

開催日 2026年1月29日(木)

13時30分～15時00分

会場 市辺コミュニティセンター 研修室

講師 花戸貴司先生 永源寺診療所 所長

定員 50名

申込み 1月7日(水)までに市辺コミセンへ申し込んでください。

※詳細は各戸配布チラシをご参照ください。

※永源寺診療所長の花戸先生は、長く地域に溶け込んだ診療をされていて、幅広い医療経験を元に、愛され、信頼されておられる先生です。参考にさせていただける話が聞けるとと思います。



連日のように全国でクマの出没や人身被害が報じられている。東近江市には、まだ報告はほとんどありませんが、最近のこの大型動物に注がれる関心の高さは、例年の比ではない。昔話にもクマと人間の縁は長い。「かわいいクマのぬいぐるみは好き」でも、「いなくて安心」「消えてほしいわけではない」せめて一日も早く奥山にお帰りを。A・T